

米沢市SDGs「わたしのなせばなる」を紹介します

企業・団体名 損害保険ジャパン株式会社 山形支店 米沢支社

代表者氏名 支社長 井田 勝康

関係するSDGsの目標(ゴール)に○を書いてください。(複数選択可)

①貧困	☐	②飢餓	☐	③保健	☐	④教育	☐	⑤ジェンダー	☐	⑥水・衛生	☐
⑦エネルギー	☐	⑧経済成長・雇用	☐	⑨インフラ・産業化・イノベーション	☐	⑩不平等	☐	⑪持続可能な都市	☐	⑫持続可能な生産と消費	☐
⑬気候変動	☐	⑭海洋資源	☐	⑮陸上資源	☐	⑯平和	☐	⑰実施手段	☐		

取組のタイトル

「災害に強い持続可能な地域社会」の実現に向けて

取組の説明 ※SDGsの各ゴールの達成にどのように貢献するかなどを記載してください。

※欄が不足する場合や写真・画像がある場合は任意様式(A4タテ)で提出してください。

近年、気候変動による自然災害の激甚化・頻発化は全国に深刻な被害をもたらしており、災害がいつどこで私たちの身に降りかかるのかわからない時代を迎えています。また、少子高齢化や人口減少などによる地域格差は、以前にも増して複雑な社会課題を引き起こしており、今後これらの課題解決には、地域における自治体や企業、NPO、大学などがそれぞれの立場に留まらず、ともに手を携えながらその役割を発揮していくことが必要です。

損保ジャパンは、今年で創業135周年を迎えます。保険・リスクの専門家、全国のネットワーク拠点、デジタルといった損害保険会社「ならでは」の強みと長年の実績を活かし、市民社会と企業、自治体をつなぐプラットフォームとしてその土地に根差しながら、SDGsの普及活動と災害に備える大切さを少しでも多くの方に伝えていきたいと考えています。

The Action! ~SDGs カードゲーム~



SDGsの理解を深め、SDGsが目指す世界への道のりをゲーム形式で体感する当社オリジナルのワークショップです。地域における共創の土壌づくりを目指し、楽しくSDGsについて学ぶことで、自分事として考え、行動するきっかけになります。与えられたお金と時間を使って、チームのゴールを達成するためにプロジェクトを実行していき、変化する世界の状況や道のりを体験します。チームの世界の状況が刻々と変わっていき、参加者全員が行うプロジェクトの結果、2030年の世界があらわれていきます。



(社会課題に関する理解の促進に加え、企業、自治体、学校などの組織内のコミュニケーション活性化にも役立ちます)

地域貢献プロジェクト



お客さまが保険契約ご契約時に「Web証券」や「Web約款」(*)を選択いただいた場合や、自動車事故の修理時にリサイクル部品などを活用いただいた場合に削減できたコストの一部を原資に、国内外の自然環境を守る活動や次世代育成を意識した防災教育など、持続可能な社会の実現に向けた以下の取組みを実施しています。

※環境保護の一環として、従来の紙ではなく Web 上で閲覧するタイプの証券・約款

■SAVE JAPAN プロジェクト(地域貢献プロジェクト)



地域住民の皆さんが環境保全活動に参加するきっかけを提供することを目的として、「いきものが住みやすい環境づくり」を目指すプロジェクトです。日本 NPO センターを中心に地域の環境団体や NPO 支援センターと協働し、地域みんなで参加できるイベントを開催します。2011年の開始から2023年3月までに全国で延べ1,015回のイベントを開催しており、これまでに300種以上の希少生物種の保全活動に貢献しています。

今年からはこれまでの活動内容をより進化させ、生物多様性の損失と気候変動への統合的対応につながる「Eco-DRR(生態系を活用した防災・減災)」の浸透や「30 by 30(サーティバイサーティ)」に貢献していくため「OECM(国立公園などの保護区以外で、生物多様性に資する地域)」を推進する観点も取り込みます。身近に楽しく環境を学べる機会を提供していくことで、2030年までのネイチャーポジティブの実現に向けた生態系の保全活動と環境人材の育成に寄与していきます。



■つながる防災プロジェクト(地域貢献プロジェクト)



高齢者・乳幼児・障がい者・外国の方など、災害時に特に配慮が必要な要配慮者を支援するプロジェクトです。参加いただく地域住民の皆さまにとって、身近な地域課題である要配慮者への理解、地域防災に対する意識の向上等につなげ、「誰一人取り残さない」持続可能な地域づくりに貢献していきます。

具体的な活動内容としては、要配慮者と一緒に、街歩きを通じた防災マップづくり・シミュレーションや訓練・ワークショップ・講演会など市民参加型の防災イベントを行います。(現在は全国の児童館で開催)



■防災ジャパンダプロジェクト(地域貢献プロジェクト)



損保ジャパンが、NPO 法人プラス・アーツ、愛知人形劇センターと協働し、開発した防災教育プログラムです。将来を担うこどもたちおよび保護者の方を対象とし、災害から身を守るための知識や安全な行動を学んでもらうことを目的としています。東日本大震災の際、保険金支払い業務をしていた当社社員の声から生まれ、いざというときに大切な人を守れるよう、災害が起きる前から「安心」をお届けしていきます。「防災人形劇」のほか、「防災グッズ暗記クイズ」や「紙食器づくり」など7コンテンツから成るプログラムで展開しており、2016 年の開始以降、ご参加いただいた方は、延べ 77,000 人以上(2023 年 3 月末時点)に達します。未来にわたって人や地域を守るために、損保ジャパンは今後も防災・減災の普及啓発に取り組んでまいります。

